

Monju.TIMEZ

文殊ノ会 会報誌

Topics.

秋から変わる、
働くルールと
商機

10

2026 年
月号

❖ 文殊ノ会

Monjunokai as a Platform in Kobe

Topics.

秋から変わる、 働くルールと商機

1. 10月施行のカスハラ対策、全事業主が対象

2026年10月1日から、カスタマーハラスメント（カスハラ）対策が企業規模を問わず全事業主に義務付けられます。顧客からの著しい迷惑行為への対応方針の策定、相談体制の整備、事後対応などが求められます。中小企業でも猶予期間がないため、早めの準備が必要です。厚労省の指針では、カスハラの3要素として「著しい迷惑行為」「業務の適正な範囲を超える要求」「事業主が雇用管理上講ずべき措置」が示されています。

2. 106万円の壁撤廃と社会保険加入の拡大

2026年10月1日から、短時間労働者の社会保険加入要件から「年収106万円以上」の賃金要件が撤廃されます。51人以上の企業では、週20時間以上働く短時間労働者の多くが厚生年金・健康保険に加入対象となります。加入要件の見直しと労務費への影響を事前に確認しましょう。企業規模要件も段階的に引き下げられるため、対象となる従業員が増える可能性があります。

3. ハロウィン商戦の集客アイデア

10月末のハロウィンは、飲食・小売・観光で大きな商機です。限定メニュー、コスプレ割引、写真映えスポット、SNS連動企画など、地域企業が取り入れやすいハロウィン販促のアイデアが注目されます。家族連れや若者向けに、仮装コンテストやスタンプラリー、ハロウィン限定商品を企画することで、季節感を楽しみながら来店を促せます。昨年の販売データや顧客の声を参考に、今年ならではの提案へ磨き上げることが、競合との差別化につながります。

4. 年末商戦の最終チェック

9月号で「仕込み」を紹介しましたが、10月は実行フェーズ。在庫、販促、予約受付、配送体制の最終確認を行い、年末商戦を確実に収益につなげるためのポイントを整理します。限定商品や法人向けギフトは、企画から製造、案内まで時間がかかるため、早期のスケジュール設計が欠かせません。昨年の販売データや顧客の声を参考に、今年ならではの提案へ磨き上げることが、競合との差別化につながります。